土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他河川　柳川　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	No.1	**調査位置**	No.0 CL			**北緯**	34° 23′ 42.3037″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			**調査期間**	2020年 12月　2日 ～ 2020年 12月　8日	**東経**	133° 08′ 19.1214″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 65.53m	**角度**	180°, 上下, 90°, 0°	**方位**	北 0°, 270° 西, 90° 東, 180° 南	**地盤勾配**	水平0°, 鉛直 90°
総削孔長	6.00m					**使用機種**	

試錐機	東邦　DO-B		
エンジン	ヤンマー　NFD13	**ポンプ**	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	64.83	0.70		礫質土		褐			φ=60mmまでの角礫主体。礫間は細粒分を多く含む砂。旧耕作土	
1				玉石混じり粘土質砂礫		青灰～褐	rd3		土石流堆積物 コア長20cm程度までの硬質な玉石を含む。 玉石間は細粒分を多く含む砂礫。	12/11 2.71
2										
3	62.53	3.00		流紋岩		灰			強風化流紋岩（DH級、軟岩Ⅰ） 強風化し試料はハンマー軽打で崩れる。 深さ方向に風化の程度弱くなり、硬質となる。	
4	60.83	4.70		流紋岩					風化流紋岩（CL級、軟岩Ⅰ） 短柱状コアを主体とする。 コア肌やや粗い。 割れ目が数cm～十数cm間隔で入り、割れ目面は褐色化している。	
5	59.53	6.00								
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
18	1.15	5	8	5	18/300		
	1.45						
19	2.15	4	9	6	19/300		
	2.45						
65	3.10	16	24	10/30	50/230	230	
	3.33						
68	4.15	8	28	14/20	50/220	220	
	4.37						
750	5.00	50/20			50/20	20	
	5.02						
1500	6.00	50/10			50/10	10	
	6.01						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				12/3
				12/4
				12/7
				12/8